



横浜赤レンガ倉庫
YOKOHAMA RED BRICK WAREHOUSE

◎ 天候に左右されちゃうよね。

A もちろん天気の良い日のイベント広場は最高ですが、天候に恵まれなくとも心配いりません。ユニットハウスや大小テントの設営による屋外会場づくりの実績も豊富で、季節を問わず安定したイベント開催が可能です。また、1号館にはホールとギャラリースペースがあり、屋内イベントや展示もできます。

◎ 週末のお客さんばかりだね。

A よく言われますが、みなとみらいエリアはビジネス、観光、ショッピングなど常に多くのお客様が循環しています。映画やドラマのロケ地としても有名なスポットであり、インバウンドのお客様も多く、平日にもにぎわいが絶えません。

横浜赤レンガ倉庫で ビジネスチャンスを

「横浜赤レンガ倉庫」と聞いて、どのようなイメージを持たれるだろうか。

歴史的な近代化産業遺産である一方、

観光、ショッピング、レジャーを楽しむ文化・商業施設としても年間630万人超の集客力を誇る。

また、開発が一段と加速し、活気あるビジネスの中心地である

みなとみらいエリアに位置する横浜赤レンガ倉庫は

ビジネス界でも今、熱い注目のスポットだ。

誤解されやすい横浜赤レンガ倉庫について、もっと知ってみよう！

◎ 駅から離れていて、人が集まりにくいよね。

A そんなことはありません。地下鉄やシャトルバスなどを利用して、2018年の来館者は約630万人、1日平均では平日10,000人、休日30,000人の方々が訪れます(※)。水上バスもアトラクション気分で行くことができますよ。

◎ 若い人ばかり集まるスポットだね。

A 幅広い年代の方がいらしてますよ。40歳以上のご来館者が約半分を占めております。(10代:11%、20代:25%、30代:18%、40代以上:46%※)。個性あふれる店舗でショッピングを楽しんだり、山下公園の散策や港ヨコハマの歴史探訪などもおすすめです。

◎ ビジネスイベントには向いていないよね。

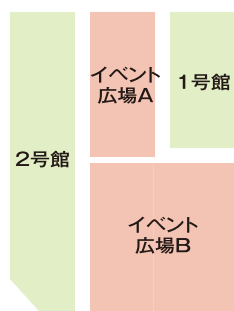
A いえいえ。みなとみらいエリアは活気あるビジネスの集積地です。これまでも新車発表会や地方自治体のプロモーションイベントなどを開催して、多くのお客様ににぎわいました。BtoCはもちろん、BtoBにおいても新たなチャネル開拓が期待できます。

◎ できることは限られそうだね。

A やる気が出る質問です。私たちはにぎわいづくりのプロです。これまで演劇やコンサート、各種展示会などを通じて、横浜赤レンガ倉庫という非日常空間を幅広く創出してきました。ぜひお客様のアイデア実現をお手伝いさせていただきます。

※(株)横浜赤レンガ調べ

SPACE スペース



【1号館】ホール＆スペースがあり、コンサートやギャラリーなどの貸出施設として、幅広いジャンルのイベントを開催しているほか、展示会や販売会、ワークショップ等に対応できるスペースもあります。
【2号館】商業施設としてさまざまなレストランやカフェ、ショップが出店し、フロアごとに異なるコンセプトで空間を演出。
【屋外のイベント広場】電源・給排水設備等も常設され、大小のテントやステージを設営して、ライブや展示会、物産展など多彩なイベントを開催しています。

ACCESS アクセス

- ▶「渋谷駅」より東急東横線・みなとみらい線利用で約40分
- ▶「東京駅」よりJR 各線・みなとみらい線利用で約55分
- ▶「横浜駅東口」より、シーバス利用で約15分
- ▶「横浜駅」より、横浜市営バス・赤レンガ循環バス利用で約13分
- ▶JR・市営地下鉄「桜木町駅」「関内駅」より徒歩で約15分
- ▶みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩で約12分
- ▶みなとみらい線「馬車道駅」「日本大通り駅」より徒歩約6分

※所要時間は目安です。交通状況などにより変わります。
※その他のアクセス方法もございます。

HISTORY 歴史

横浜赤レンガ倉庫は明治末期から大正初期に国の模範倉庫として建設され、歴史的建造物として、経済産業省の「近代化産業遺産」にも認定されています。関東大震災や第2次世界大戦時の空襲、連合国軍による接収など激動の時代をくり抜け、今なお横浜のシンボルとして当時の面影を残したまま、港にたたずみ続けています。2002年文化・商業施設として開業。現在は、三菱商事都市開発株式会社の子会社である株式会社横浜赤レンガが運営しています。

WHAT WE CAN DO できること

紹介しているイベントは、ほんの一例です。「こんなことはできるの?」といったお問い合わせは大歓迎です。横浜赤レンガ倉庫主催イベントへの協賛出展などもご相談ください。

<https://www.yokohama-akarenga.jp/guidance/>

お問い合わせ先 **045-226-1910**

横浜赤レンガ倉庫共同事業体 | 受付時間 平日10:00～18:00



企画・制作＝日本経済新聞社クロスメディア営業局

広告

